



## 《将来に向けた取組方針》

当社は、「SUBARU環境方針」のなかで「『大地と空と自然』がSUBARUのフィールド」と宣言し、地球の環境保護が社会と自社の持続可能性を確保するための最重要テーマと考え、全ての企業活動に取り組んでいます。生物多様性に配慮した事業活動を継続していくため、「生物多様性ガイドライン」を制定し、「SUBARUの森」の保全活動、米国国立公園での埋立ゼロ活動、各イベントを通じた啓発活動を行っています。また、「SUBARUの森 美深」では、気候変動対策を踏まえたクレジット発行や間伐材のバイオマス燃料利用及び50年後の森の育成という長期的な視点での人口造林の整備を進めています。

### 〈具体的取組み事例〉

- 「SUBARUの森 美深」での取り組み
  - ・Jクレジット発行予定
  - ・間伐材をバイオマス燃料やイベント制作物として利用
- 米国国立公園でのごみ分別の啓発活動



- Subaru of Indiana Automotive, Inc.が野生動物が生息するエリアとしてNational Wildlife Foundationから認定を受けた（米国内の自動車工場として初）
- Subaru of China Ltd.は中国野生動物保護協会と共同で、中国の31省の自然保護区に31カ所の「SUBARU生態保護森林」を設置
- 宇都宮製作所内に生物多様性モニタリングエリアを設置

### 〈今後の課題等〉

「ポスト愛知目標」を踏まえた2030年/2050年までの長期目標の設定。

### 〈社会に向けたメッセージ〉

自動車と航空宇宙事業を柱とするSUBARUの事業フィールドは、「大地と空と自然」です。SUBARUは、事業活動を通じて生物多様性保全に取り組み、「大地と空と自然」が広がる地球の環境保護に貢献し、自然との共生を目指します。